

子どもの発達には個人差があります。

社会性の発達とレジリエンス

年齢	時期	社会性の発達と目安	レジリエンスに繋がる大人の関り
2歳ごろ	自己主張の時期 (イヤイヤ期)	<ul style="list-style-type: none"> ✧ 『イヤイヤ期』の始まり。 ✧ 自分で決めたがる。 ✧ 他の子と平行遊びをする。 ✧ 自分で遊びを見つけ、取り組む。 ✧ 「どこ」がわかる。 ✧ 「なんで？」と、理由を聞く。 ✧ 「見てみて！！」と、人からの承認を求める。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもに折り合いをつける力をつけさせる。 ● 「待っててね」「あとでね」「今度ね」などの言葉を掛ける。 ● 反抗や大騒ぎも、一時期のことと考え、見守る。 ● 他の子と分け合うように促す。 ● 泣くのではなく、言葉で表現させる。
3歳ごろ	役割に気づく	<ul style="list-style-type: none"> ✧ お手伝いをしたがる。 ✧ 説明ができはじめる。 ✧ 2,3人の少人数で遊ぶ。 ✧ 『いつ』がわかるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 人から教わる力を身につけさせる。 ● うまくできなかつたり、失敗したりしても大丈夫と思えるような関りをする。 ● 「練習すると上手になっていく」ことを伝える。 ● 順番を守れることを褒める。
4歳ごろ	競争する	<ul style="list-style-type: none"> ✧ 集団で遊び始める。 ✧ 負けると泣き騒ぐことがある。 ✧ 約束ができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 負ける時もあるという体験をさせる。 ● 泣き叫んでも、一時的なことと考え、見守る。 ● ルールが理解できない場合は、丁寧に教える。 ● 負けた時に、泣きやめたらほめる。
5歳ごろ	話し合う	<ul style="list-style-type: none"> ✧ じゃんけんをする。『勝ち・負けにこだわる』 ✧ 仲間意識を持つようになる。 ✧ 抑制力が働きます。 ✧ 集団が形成されだす。 ✧ 子どもだけで話し合いができるようになる。 ✧ 共同で行うことが増える。 ✧ 人の役に立つことを喜ぶ。 ✧ 約束が出来るようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分の主張だけでなく、相手の意見を聞くことを教える。 ● 「話し合い」は解決の手段であることを学ばせる。
6歳ごろ	決まりやルールを守る 道徳を守る	<ul style="list-style-type: none"> ✧ サッカー等、チームで競い合う。 ✧ 他の子と共同で絵を描く。 ✧ 道徳的な判断ができる。 ✧ 栄養のことがわかりだし、自分から嫌いなものでも食べる。 ✧ 雨になりそうなど、目の前にないことを予測し、準備をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分の考えとは違うものの、ルールの存在とその大切さに気づかせる。 ● 「ルールを守れる自分」に気付かせる。 ● 多数決など、公平に決める事の大切さを伝える。 ● 道徳の理解は社会参加への第一歩になることを大人が理解し、危ないことや、いけないことをした時には叱る。 ● 道徳の理解を促すときに、体罰はしない。 ● 障害のある人の存在と、必要な配慮を教える。

表はおおまかな年齢別で作成していますが、あくまで目安であり、発達には個人差があります。

早ければ良いというものでもない。ゆっくりでも発達にそって大人が関りを持ってあげることが重要です。